



埼玉西部消防局 山岳救助隊 NEWS

冬号
令和5年
12月
発行

埼玉西部消防局 山岳遭難事故発生状況(令和5年7月から令和5年11月まで)

発生日	場所	事故内容	年齢	性別	負傷程度
7月12日	天覚山	足がつり歩行困難	60代	男	軽症
7月19日	蕨山	腰部痛により歩行困難	70代	男	軽症
7月24日	棒ノ嶺	登山道上で心肺停止	20代	女	死亡
7月26日	伊豆ヶ岳	転倒し右足負傷	60代	男	中等症
7月29日	棒ノ嶺	転倒し左足骨折	40代	女	中等症
8月11日	多峯主山	足がつり歩行困難	70代	男	不搬送
8月28日	日和田山	手足の痺れにより歩行困難	20代	男	軽症
9月17日	高麗峠	気分不快により歩行困難	80代	男	不搬送
9月27日	棒ノ嶺	足がつり歩行困難	70代	男	軽症
10月 9日	武川岳	転倒し右足負傷	60代	男	中等症
10月28日	棒ノ嶺	転落し頭部及び右腕負傷	30代	男	軽症
10月28日	棒ノ嶺	道迷い	30代 30代 20代	女 女 男	不搬送
10月30日	天覚山	転倒し左足負傷	70代	男	中等症
11月23日	棒ノ嶺	転倒し左手指骨折	60代	男	軽症
11月27日	五輪山	登山道上で心肺停止	不明	男	死亡

上記の表は、令和5年7月1日から令和5年11月30日までに
埼玉西部消防局管内で発生した山岳遭難事故発生状況です。
昨年同時期と比べて4件でした。





熊出没注意

今年は冬の気温低下遅延やエサ不足などの理由で山間部だけでなく、飯能市内や入間市内でも熊の目撃情報が多く寄せられております。

遭遇しないために



・出没情報等を確認する

新聞やテレビニュース、市町村等のウェブサイト等を活用する

・自分の存在を知らせる

くま鈴・ラジオ等で音を鳴らす・複数人で喋りながら歩く

・熊を避ける

熊の活動時間帯（朝夕、天候不良で薄暗い時など）や熊のエサとなる山菜がある藪は注意する

・危険を感じたらその場を離れる

木の樹皮に爪痕、フンや足跡等を見つけたら引き返す

遭遇してしまったら

・熊の様子を伺いながら静かに引き返す

急な大声や動きは控え、熊を見ながらゆっくり後退する

・熊撃退スプレーの準備をする

熊の目や鼻、口の粘膜にスプレーが当たるように顔に向かって噴射する

・受け身の姿勢を取り、身を守る

リュックサックを背負った状態でうつ伏せになり、手で首や頭の急所を守り攻撃に耐える



山岳救助研修を実施しました

埼玉西部消防局の管轄する西部地域は、秩父山系から延びる標高1000m級の山々に囲まれ、初心者からでも登山を楽しめる地域となっています。近年の登山ブームにより、登山客の増加に比例し、山岳地帯においての遭難、事故も増加の傾向にあります。このような山岳遭難事故に的確に対応するため、山岳救助隊員が指導者となり、年に1回、各署から選抜された隊員が山岳救助に対する知識と技術の向上を目的とし研修を行っています。今回の研修では12名の隊員が12月6日～8日の3日間にわたり研修を受講しました。

訓練の様子



登山計画書を提出しましょう！！



いざという時に、役に立つのが「登山計画書」です。消防・警察の山岳救助隊は、提出された登山計画書の情報をもとに、捜索活動を行います。登山計画書は、登山口に設置してあるポストや、埼玉県警察のホームページからも提出できます。また、家族や身近な人に渡しておくだけでも大きな情報源となります。

メンバー合計 名						
役割	氏 名	性別	年 齢 (年 月 日生)	住 所	携帯(自宅)番号	緊急連絡先氏名
						携帯(自宅)番号
チーフ リーダー			歳 (年 月 日生)			
サブ リーダー			歳 (年 月 日生)			
			歳 (年 月 日生)			
			歳 (年 月 日生)			
			歳 (年 月 日生)			
			歳 (年 月 日生)			
			歳 (年 月 日生)			
			歳 (年 月 日生)			
			歳 (年 月 日生)			
			歳 (年 月 日生)			
			歳 (年 月 日生)			
			歳 (年 月 日生)			
			歳 (年 月 日生)			
			歳 (年 月 日生)			

※登山届は登山する山を管轄する警察署、登山口設置の登山ポスト等へ提出してください。家族にも登山届を渡しておきましょう。